

2019 年度 一般社団法人室内環境学会 第 1 回通常理事会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 16 日（金）16:00～18:30

場 所：(株) アイデック 3 階 会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、山口 一、篠原直秀、三宅祐一、鍵 直樹、水越厚史、一條佑介、Tin Tin Win Shwe

オブザーバー：野口美由貴

事務局：中島大介（事務局長）、小沼ルミ（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席：川崎たまみ、松木秀明

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 8 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 平成 30 年度第 2 回通常理事会議事録 → 承認された。

2. 平成 30 年度決算報告

小沼会計より H30 年度第 6 期会計決算が報告された。学会誌の 1 号増刊に伴い、当初の予定では 70 万円の支出過多で見込んでいたが、最終的に約 20 万円の支出過多に抑えられたと説明され、承認された。

3. 平成 30 年度会計監査報告

野口監事より平成 30 年度会計監査について、活動状況及び予算執行状況は適性であると報告された。なお付帯意見として、分科会活動費として計上された交通費について、分科会ごとに交通費支給のルールが異なり不公平感がある、との指摘があった。また、他学会のイベントとリンクする形で開催された分科会会議にてメンバーへ交通費が支給されており、不正と誤解されてしまう恐れがあるとも指摘された。分科会活動に伴う交通費や謝金に関してルールを整備すべきではないかと、野口監事から要望があった。これに対し関根理事長は、まずは各分科会に丁寧に説明することで交通費・謝金支給への考え方を統一すること目指し、後々はルール化も検討していきたい、と回答した。また、学術委員会でも各分科会代表に直ちに注意を促し、活動費の使途に関して均一化を図りたいと篠原委員長が回答した。

4. 各委員会報告

学術委員会：篠原委員長より、例年通りの活動を行ったと報告された。また、従来の研究助成に代わり新たな表彰制度の導入を検討中でその試案作成を行なっているとのこと。また、各分科会活動について、出席理事が自身の所属する分科会について報告を行った。前項に関連して、野口監事から分科会の活動成果を学会員に還元してほしいと要望があった。微生物分科会が行なっている勉強会は全学会員へ開催通知をして参加者を募ってもいいのでは（三宅理事）。会場の大きさなど都合もあるのでは（山口理事）。広く参加者を募集できるイベントに関しては、開催通知を行うよう微生物分科会に促していきたい（篠原委員長）

出版委員会：関根理事長が代理で報告した。H30 年度は学会誌を 1 号増刊し、計 3 号が発刊された

標準法認定管理委員会：鍵委員長より、H30 年度は相談案件が 1 件あったと報告された。エビデンスとなる論文の執筆を促したので、今後の進展を待ち、改めて協議したいとのこと。

事業委員会：山口委員長より、講演会の開催、協賛依頼の審議、永年賞の審議などを行なったと報告があ

った。また、2019年2月に開催される大阪講演会の宣伝を各理事へ要請した。12月の学術大会でも大阪講演会の案内をすることになった。

広報委員会：水越委員長より、HP更新・管理、ニューズレター配信、チラシ作成、学術大会HPの作成など例年通りの活動を行なったと報告があった。また、H30年度はFacebookでの情報発信を2週に1度のペースで精力的に実施したとこと。

社会連携委員会：三宅委員長より、国内企業や海外団体との情報交換、国際学術誌との連携を検討しているとの報告があった。また、来年に迫った国際シンポジウムの準備も開始しているとのこと。

各地方支部：資料に基づき、関根理事長から報告があった。

5. 定款の改正について

中島事務局長より、定款変更を以下の通り提案され承認された。この変更案は12月の総会にて諮る。

- ・第1章総則について、事務所住所を墨田区→文京区に変更する案
- ・第6章理事会について、テレビ会議システム等も可とする変更案
- ・第6章理事会について、電磁的記録による可決を認めるとする変更案

6. 室内環境学会永年賞

関根理事長より表彰法人会員（アイデック社）について報告があった。

7. 平成30年室内環境学会学術大会 大会長奨励賞

関根理事長より口頭発表受賞（A-21「防災カーテンに含まれる化学構造が未知である難燃剤の定性分析」徳村雅弘、王斉、三宅祐一、甲斐葉子、雨谷敬史、C-08「経気道暴露評価のためのPBPK-CFD-CSP連成解析モデル」劉城準、伊藤一秀）について報告があった。

8. 平成30年度室内環境学会査読者賞

関根理事長より査読者賞の受賞者（小座野貴弘会員）について報告があった。本件は評議員へ諮問し、異論が無いことを確認済みのため、関根理事長によって決定された。

9. 平成30年度室内環境学会賞・論文賞

関根理事長より学会賞・論文賞（「携帯型環境たばこ煙中ニコチン捕集装置の開発」鈴木義浩、野口美由貴、福島靖弘、雨谷敬史、秋山幸雄、榎本孝紀、山崎章弘、中井里史、室内環境、第21巻1号 p.1-8 (2018)）について報告があった。本件は評議員会へ諮問し、異論が無いことを確認済みのため、関根理事長によって決定された。

1 1. 分科会設立申請

申請された化学物質分科会が承認された。申請書未提出の分科会へは事務局が提出を促すことになった。

1 2. 一般規則の改正について

中島事務局長より、一般規則の変更が以下の通り提案され承認された。

- ・第2章13条(分科会)について、分科会の設置期間を「2年」→「2年以内」へ変更する

これに関連し、分科会運営について次の通り意見交換がされた。分科会メンバーは非会員が多いが、なるべく会員になっていただきたい（鍵理事）。正会員と非会員の割合を決める、分科会への入会理由書の提出

などルールを設けてはどうか（篠原理事）。まずは、分科会代表から入会を促して貰って、徐々に制度化して行くのが良いのでは（関根理事長）。制度化するなら内規が良いだろう（山口理事）

1 3. メディア取材対応について

中島事務局長より、取材申込書（案）が示され説明があった。H30 学術大会で催される分科会セミナー（環境過敏症分科会が担当）への取材申し込みがあったため、新たに書式を作成したとのこと。取材申請書は HP に掲載し、提出された申請書の審議・承認は広報委員会が担当することになった。判断の難しい案件等は理事会に諮ることとなった。また、取材記事の原稿を事前に学会へ提出することを義務付けることとした。学術大会の取材に際しては、写真撮影を許可、取材腕章の装着必須、参加費は徴収しないこととした。

1 4. 平成 30 年室内環境学会学術大会

平成 30 年室内環境学会学術大会に向けた準備の進捗状況について、鍵大会長より説明があった。

- ・要旨集は pdf 版を配信し、パスワードは学会誌とともに郵送する。また、概略のみを冊子にまとめたプログラム集を当日配布する。
- ・口頭発表 60 題、ポスター発表 80 題の申込があった。機器展示は 13 社の申込があった。
- ・ポスター発表のプレゼンは学生会員のみとする。
- ・機器展示出展社によるメーカープレゼンを行う。広告はプログラム集に掲載する。

1 5. 2019 年室内環境学会学術大会

2019 年室内環境学会学術大会の準備状況について、三宅大会長より説明があった。開催場所は沖縄自治会館、期間は 2019 年 12 月 5～7 日を予定し、評議員会は 4 日に開催。また、7 日にエクスカージョンを計画しているとのこと。

1 6. 入会者仮承認者の正式承認

事務局より平成 30 年 9 月 28 日～11 月 16 日の入会希望者 23 名（正会員 14 名、学生会員 8 名、シニア会員 1 名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。

1 7. その他

- ・会員動向として、平成 30 年 11 月 16 日時点で正会員 365 名、法人会員 47 社（団体）、学生会員 57 名、シニア会員 8 名であると報告された。
- ・理事長候補選挙の開票結果について中島事務局長より、関根香嘉会員が理事長候補に選出されたとの報告があった。
- ・評議員の自薦・他薦状況について中島事務局長より報告があった。
- ・H30 年度総会にて池田耕一先生、柳澤幸雄先生を名誉会員に推戴することとなった。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

水越厚史

印

鍵 直樹

印

三宅祐一

印

一條佑介

印

Tin Tin Win Shwe

印